

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

株主通信

株主のみなさまと東芝をつなぐ情報誌

2006年冬号

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。
平素のご支援、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

9月5日から約1か月間、「株主通信」についてのアンケートをホームページにて実施させていただいたところ、実施期間中、書面も含めて多数のご回答・ご意見を頂戴しました。

おひとりおひとりに返信をすることができませんが、この場にて心から御礼申し上げます。

アンケートの結果は最後のページでご報告し、
貴重なご意見は今後の参考にさせていただきます。

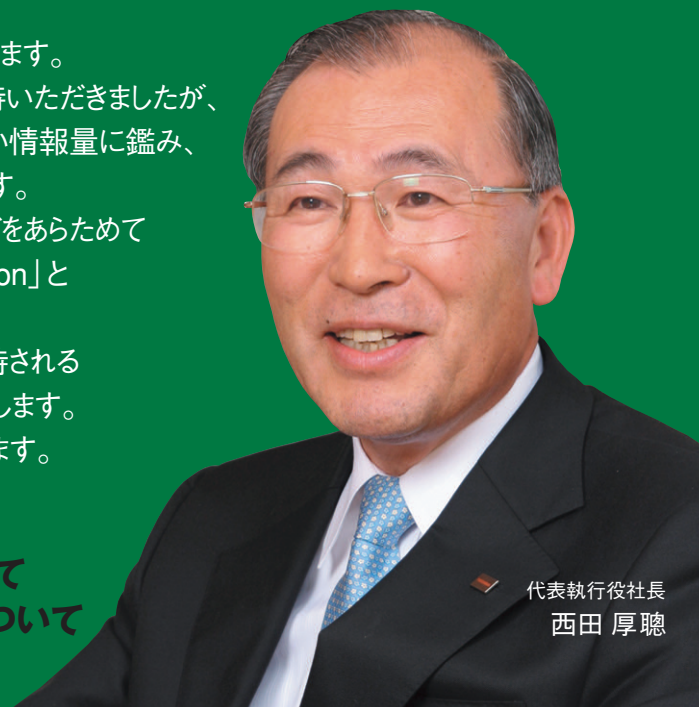
中でも、多くの方にハガキ型の簡素さをご支持いただきましたが、
中間期(冬号)と通期(夏号)は、お届けしたい情報量に鑑み、
見やすさに配慮しながら冊子型にて発行します。

また、10月1日から、当社のコーポレートブランドをあらためて
策定し、1行で「TOSHIBA Leading Innovation」と
表現することにしました。

当社ブランドを、躍動感あふれ、信頼され、期待される
コーポレートブランドとして確立することを目指します。
今後ともご愛顧くださいますようお願いいたします。

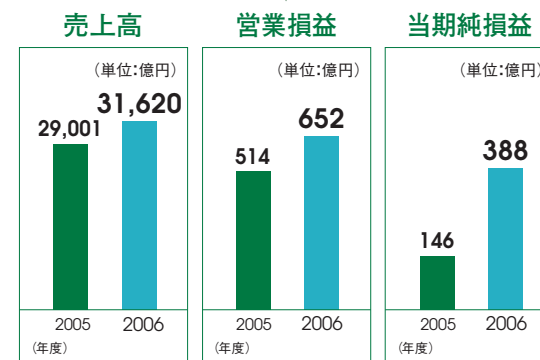
特集

2006年度連結決算(中間期)について
ウェスチングハウス社の株式取得について

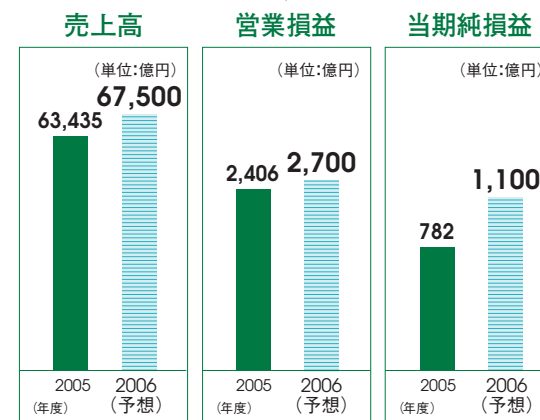


代表執行役社長
西田 厚聡

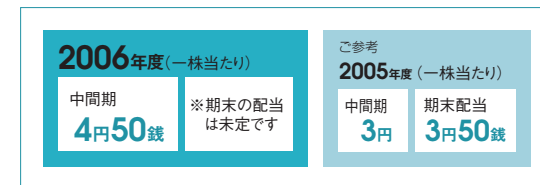
2006年度連結決算(中間期)



2005年度連結決算と2006年度通期予想



中間期の配当について



詳細は東芝のホームページ「投資家情報」サイトをご参照ください。

<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/>

株主のみなさまへ

本年度の中間期の業績は、

売上高 3兆1,620億円
(前年同期比2,619億円増加)

営業損益 652億円
(前年同期比138億円増加)

と、増収増益となりました。

デジタルプロダクツ部門が悪化したものの、電子デバイス部門、社会インフラ部門、家庭電器部門はいずれも増益でした。本年度通期の業績予想につきましては、前回予想(2006年4月28日公表)を修正し、次のとおりいたします。

売上高 6兆7,500億円
営業損益 2,700億円

当期の重要な案件として、10月にウェスチングハウス社の株式取得が完了しました。私は米国の同社での式典で、世界の原子力産業事業における新たな歴史の開始と、成功に導く世界一のチーム作りを社員に宣言しました。両社合わせて世界No.1のプラント実績を基にさらに事業を拡大していきます。どうぞご支援をお願い申し上げます。

2006年12月

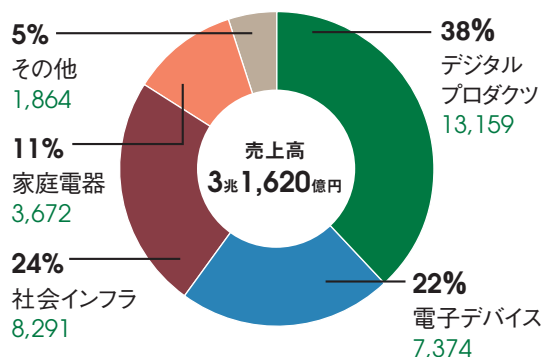
代表執行役社長

西田厚聡

2006年度連結決算(中間期)について

部門別売上高比率

(単位:億円)



売上高のセグメント間消去は、▲2,740億円です。消去後の連結売上高は3兆1,620億円です。

デジタル
プロダクツ部門

ストレージデバイス(記憶装置)、
テレビの好調により増収

電子
デバイス部門

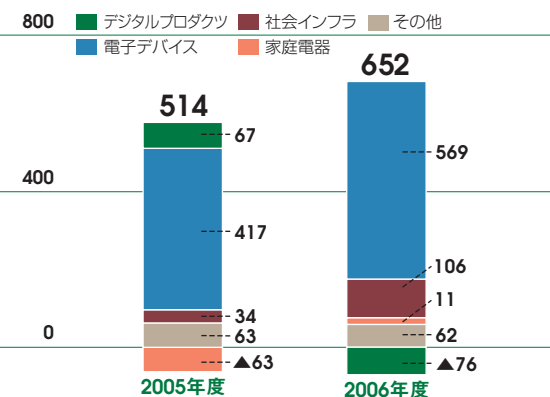
半導体および携帯機器向け液晶の
好調により増収

社会
インフラ部門

社会システムや医用システム事業
などが好調に推移し増収

部門別営業損益

(単位:億円)



営業損益のセグメント間消去は
2005年度 ▲4億円、2006年度 ▲20億円です。

デジタル
プロダクツ部門

パソコンが価格下落の影響により
悪化するも、ストレージデバイスは
増益、テレビも改善

電子
デバイス部門

半導体の大幅な増益および液晶の
改善により増益

社会
インフラ部門

社会システム、医用システムの
改善により増益

決算



業績予想を修正されましたが、
通期計画達成の見通しはどうか？



NAND型フラッシュメモリの価格下落などがありますが、医用システム事業、電力システム事業などの社会インフラ部門が堅調に推移しており、楽観はできないものの、当期純損益1,100億円の達成を目指します。

ご案内

2006年度決算(中間期)については、ホームページの「投資家情報」サイトでも関連資料を掲載しております。

詳細は→<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/library/er/er2006h1.htm>

各事業部門の個別事業の概要は、ホームページの「会社概要」サイトに掲載しております。

詳細は→<http://www.toshiba.co.jp/about/company/>

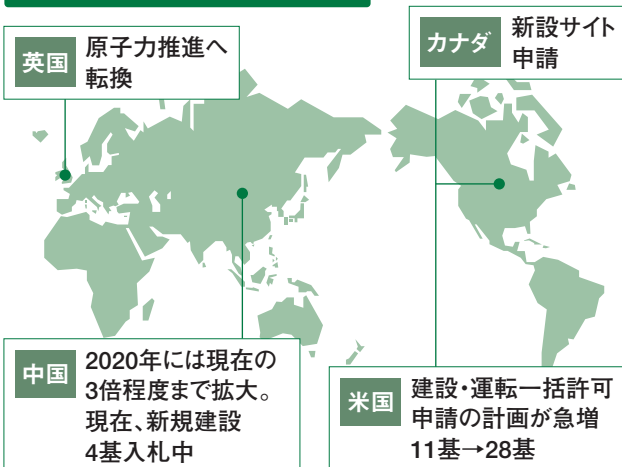
ウェスチングハウス社※の株式取得について

本年10月、ウェスチングハウス社を東芝グループの一員として迎えました。

東芝は、両社の得意分野を最適に組み合わせて世界トップクラスのグローバル原子力グループを形成し、沸騰水型原子炉、加圧水型原子炉の両方式のエネルギー関連事業を推進していきます。

※米国法人ウェスチングハウスエレクトリックカンパニー及びその他原子力事業関連会社の総称

最新の新規建設の市場動向

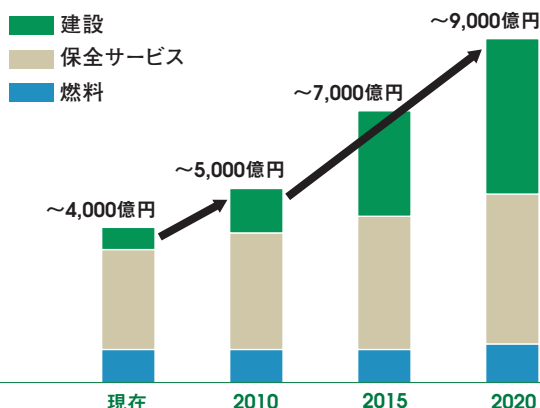


2月の売買契約締結以降も原子力新設需要は更に拡大

事業計画（東芝+ウェスチングハウス社）

短期 燃料・保全サービスビジネス※主体に安定成長

長期 新規建設ビジネスにより大幅な事業拡大



※既設（ウェスチングハウス社 97基+東芝 17基）が安定基盤

株式取得

Q&A

Q

このような大きな買収をして財務体質が大きく悪化するのではありませんか？

A

株式取得のための資金調達はすべて借入により行いました。今後のキャッシュフロー計画を踏まえた上で、必要額を見極めて長期性借入金に換えて行きますので、株式発行による資金調達は考えていません。この資金調達により、有利子負債自己資本比率が一時的に上昇しますが、2006年度末は110%前半を見込んでおり、中期経営計画の「2008年度末100%以下」に変更はありません。

Q

資金回収計画は大丈夫ですか？

A

投資に対する資金回収は17年を予定しておりますが、エネルギー確保問題などにより建設需要が高まり、15年以下に縮まることも想定されます。更に、格付機関からは、原子力発電プラント事業における市場地位と競争力を大幅に強化できるとの評価を得ています。

ウェスチングハウス株式取得完了説明会動画配信中

<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/>

CSR**の取り組み

※※企業の社会的責任

ユニバーサルデザイン

東芝グループでは、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの人間性を尊重して、誰もが安心して共に暮らせる社会環境づくりを目指すユニバーサルデザイン（UD）を推進しています。デジタル機器、家電機器から、社会システム、産業用機器にいたるあらゆる分野で一人でも多くの方に使いやすい商品の開発に取り組んでいます。



携帯電話「W45T」

押しやすさ、見やすさ、操作音にも配慮し、操作スピードに合わせて表示内容も切り替えるメニュー



エレベーター「スパーセルEX」

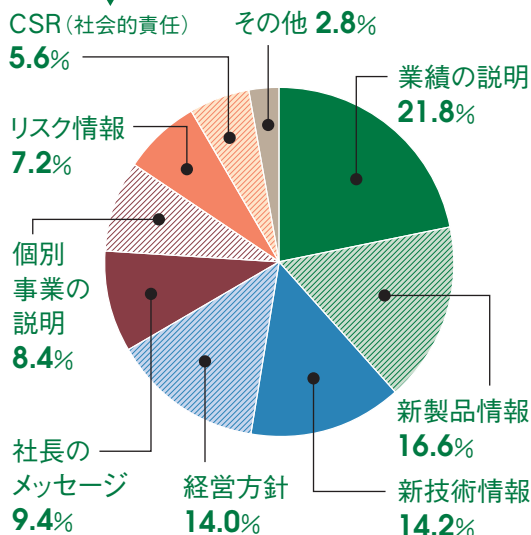
凸文字ボタン形状、満員表示、降りますボタンなどを搭載したエレベーター

「株主通信」アンケート集計結果

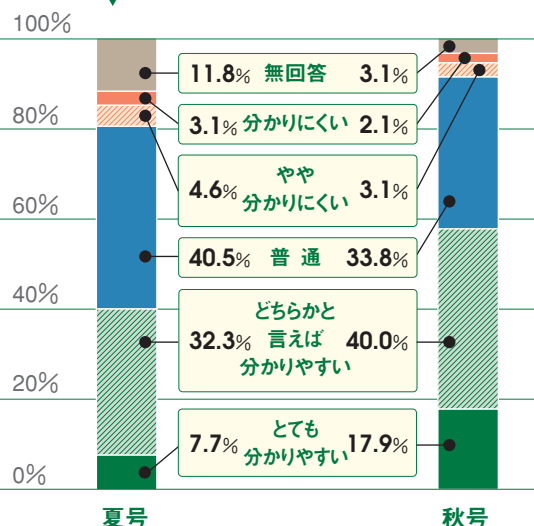
株式事務についてのご案内

実施期間 2006年9月5日～30日（26日間）
回答者数 195人（内、自由意見回答：96件）
 男女比8:2 60歳以上の方が過半を占めました。

株主通信を通じて知りたいことは何ですか？



内容についてご満足いただけましたか？



自由意見欄に寄せられたご意見の抜粋

- 株主通信が年4回発行されることは会社と個人株主の距離が縮まることになり大変良いことだと思います。
 ▶「株主通信」発行の趣旨をご理解いただき、大変うれしく思います。今後も親しみやすさを心がけてまいります。
- ハガキ型の秋号はとても見やすかったです。情報量としてはこれで充分です。
 ▶ハガキ型は引き続き春号と秋号でお届けいたします。詳細な情報はホームページでご覧いただけます。
- 他社と比較して、原子力事業、半導体事業により大規模な投資をしているようですので、そのことに触れた通信を見たいと思いました。
 ▶今回は、原子力事業を取り上げさせていただきました。
- 営業損益の内訳欄の色が同系で見にくい。
 ▶今回色使いを見直させていただきました。
- 東芝150万本の森づくり運動の展開は素晴らしいニュースです。もし一般市民が参加できるなら、呼びかけをお願いしたいと思います。
 ▶ご賛同ありがとうございます。本格的な活動は来年以降を予定しております。具体的な内容は、都度ホームページ等でご案内申し上げますのでよろしくお願いいたします。

アンケート結果については、ホームページ「投資家情報」サイトにも掲載しておりますので、ご参照ください。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社

事務取扱所 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社
 証券代行部
TEL 0120-78-2031（フリーダイヤル）

取次所 中央三井信託銀行株式会社
 全国各支店
 日本証券代行株式会社
 本店及び全国各支店

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、株主名簿管理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受け付けております。

TEL 0120-87-2031
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

当社製カラーテレビ及びカセットVTRの無償点検・修理の再告知について

当社製カラーテレビ「25J-S52」「25C-S60」「28J-Z52」の3機種（製造期間1986年8月～1988年7月）、およびカセットVTR「A-B8」「A-BT8」「A-B88」「A-BK80」「A-BDN8」「A-BY2」の6機種（製造期間1998年4月～1999年8月）については、発煙、発火に至る可能性があるとして、過去に、主要新聞紙の朝刊にお詫びとお願いの告知広告を掲載いたしております。ここにあらためて、重要なお知らせとして、お客様にお詫びし点検をお願いいたします。

点検・修理のご連絡窓口

TEL カラーテレビ 0120-609-221（無料）
 カセットVTR 0120-509-541（無料）
 受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日を除く）[但し、2006年11月末日までは土・日・祝日の9:00～18:00も受け付けております]
 詳細は当社ホームページ
<http://www.toshiba.co.jp>「重要なお知らせ」をご覧ください。